



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月14日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当 (氏名) 榊原 俊哉
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3662-7128

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	129,373	2.8	7,769	29.4	8,153	29.3	6,052	15.7
2018年3月期第3四半期	125,852	7.6	11,000	20.4	11,539	24.3	7,183	3.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,718百万円 (61.6%) 2018年3月期第3四半期 9,694百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	326.01	
2018年3月期第3四半期	386.90	

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	198,796	99,116	48.8
2018年3月期	200,948	97,026	47.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 97,103百万円 2018年3月期 94,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		8.50		42.50	
2019年3月期		42.50			
2019年3月期(予想)				42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は85円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	1.5	10,000	23.5	10,800	21.6	7,500	10.3	403.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	18,613,110 株	2018年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	47,140 株	2018年3月期	46,794 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	18,566,098 株	2018年3月期3Q	18,567,417 株

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、自然災害の影響収束により生産活動が持ち直しましたが、中国経済の減速により輸出が力強さを欠きました。一方、堅調な雇用・所得情勢を受けて個人消費は回復が続きました。海外経済におきましては、米国経済は堅調に推移しているものの、アジア新興地域においては、中国経済がアメリカとの貿易摩擦等を背景に減速となりました。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,293億7千3百万円（前年同期比2.8%増）の増収となりました。一方、営業利益は、原材料価格上昇等の影響により77億6千9百万円と前年同期比29.4%の減益となりました。また、経常利益は81億5千3百万円（前年同期比29.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、清算中のブラジル子会社の固定資産売却益を計上しましたが60億5千2百万円（同15.7%減）とそれぞれ減益となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、無機・有機顔料、繊維用着色剤、情報表示・記録材料の製造・販売を行っております。情報表示・記録材料は前年並みに推移しました。また、その他汎用顔料は堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は192億9千2百万円（同0.6%増）となり、営業利益は27億円（同12.3%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、プラスチック用着色剤、コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けは受託コンパウンド及び海外向けの着色剤が好調に推移し、コーティング剤は情報・電子業界向けが堅調に推移しました。海外連結子会社においては東南アジアのコンパウンド事業の業績が好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は719億8千8百万円（同3.8%増）となり、営業利益は47億8千9百万円（同20.4%減）となりました。

(高分子事業)

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。産業資材業界向けの特殊コーティング剤及びアパレル業界向けの樹脂が好調に推移致しました。海外連結子会社においては中国・アメリカの事業拠点の業績が引き続き堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は149億7千3百万円（同3.3%増）となり、営業利益は原材料価格上昇の影響により29億6千4百万円（同12.1%減）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは一般包材向けのパッケージ関連を中心に堅調に推移しました。海外連結子会社においては、インドネシアの拠点の業績が堅調に推移しました。一方、オフセットインキは需要減少が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は227億6百万円（同4.1%増）の増収となりましたが、営業利益は原材料価格上昇の影響により18億2千1百万円（同21.7%減）の減益となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。

当セグメントの売上高は4億1千3百万円（同58.1%減）となり、営業損失は8千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っておりません。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,987億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ21億5千2百万円減少いたしました。これは、「現金及び預金」が減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は996億8千万円となり、前連結会計年度末と比べ42億4千1百万円減少いたしました。これは、「環境対策引当金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は991億1千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ20億8千9百万円増加いたしました。これは、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月15日に公表した以下の数値より変更はありません。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	170,000	10,000	10,800	7,500

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,746	24,972
受取手形及び売掛金	53,911	56,074
たな卸資産	27,719	30,793
その他	2,416	2,084
貸倒引当金	△95	△93
流動資産合計	115,697	113,831
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,521	19,755
その他(純額)	28,991	29,821
有形固定資産合計	47,512	49,576
無形固定資産		
その他	3,044	3,146
無形固定資産合計	3,044	3,146
投資その他の資産		
投資有価証券	24,385	21,749
退職給付に係る資産	7,385	7,699
その他	2,957	2,834
貸倒引当金	△36	△41
投資その他の資産合計	34,693	32,241
固定資産合計	85,250	84,964
資産合計	200,948	198,796
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,491	32,837
短期借入金	14,943	16,904
1年内返済予定の長期借入金	8,372	9,421
未払法人税等	2,009	287
賞与引当金	2,181	1,277
関係会社整理損失引当金	240	178
環境対策引当金	2,086	69
その他	6,276	5,711
流動負債合計	70,602	66,688
固定負債		
長期借入金	18,098	17,111
役員退職慰労引当金	191	—
関係会社整理損失引当金	615	605
環境対策引当金	3,109	3,059
退職給付に係る負債	9,021	9,238
その他	2,282	2,977
固定負債合計	33,319	32,991
負債合計	103,922	99,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	66,279	70,754
自己株式	△107	△108
株主資本合計	85,985	90,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,673	7,885
繰延ヘッジ損益	△19	△5
為替換算調整勘定	△97	△754
退職給付に係る調整累計額	△593	△482
その他の包括利益累計額合計	8,963	6,644
非支配株主持分	2,076	2,012
純資産合計	97,026	99,116
負債純資産合計	200,948	198,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	125,852	129,373
売上原価	101,426	106,781
売上総利益	24,426	22,591
販売費及び一般管理費	13,425	14,821
営業利益	11,000	7,769
営業外収益		
受取利息	64	107
受取配当金	306	339
持分法による投資利益	173	119
保険配当金	212	185
その他	312	479
営業外収益合計	1,069	1,230
営業外費用		
支払利息	326	315
為替差損	108	309
その他	96	221
営業外費用合計	530	847
経常利益	11,539	8,153
特別利益		
固定資産売却益	10	927
その他	11	113
特別利益合計	22	1,040
特別損失		
固定資産除却損	124	157
関係会社整理損失引当金繰入額	1,002	139
その他	198	354
特別損失合計	1,325	651
税金等調整前四半期純利益	10,236	8,543
法人税、住民税及び事業税	2,655	1,209
法人税等調整額	358	1,269
法人税等合計	3,013	2,479
四半期純利益	7,222	6,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,183	6,052

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	7,222	6,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,160	△1,787
繰延ヘッジ損益	△25	14
為替換算調整勘定	218	△609
退職給付に係る調整額	36	110
持分法適用会社に対する持分相当額	82	△73
その他の包括利益合計	2,472	△2,345
四半期包括利益	9,694	3,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,664	3,733
非支配株主に係る四半期包括利益	30	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	19,174	69,377	14,494	21,821	984	125,852	—	125,852
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	413	24	99	7	13,490	14,035	(14,035)	—
計	19,588	69,401	14,593	21,828	14,475	139,888	(14,035)	125,852
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	3,078	6,015	3,370	2,324	△179	14,610	(3,610)	11,000

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,610百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては93百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	19,292	71,988	14,973	22,706	413	129,373	—	129,373
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	331	39	320	0	14,661	15,352	(15,352)	—
計	19,623	72,027	15,293	22,706	15,074	144,725	(15,352)	129,373
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,700	4,789	2,964	1,821	△89	12,186	(4,416)	7,769

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用4,416百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。